

# 安全安心WG(第1回)の振り返りと今後の進め方

日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会  
第2回安全安心WG

2017年11月6日(月)14時～17時

# 第1回安全安心WG(2017/10/11開催)振り返り① ~ワークセッションでの意見~

【テーマ】 学生アスリート・指導者が安全・安心に活動できる環境を整えるためになすべきこと

## ■ 事故や怪我のデータの集計・分析

- ✓ 大学スポーツの事故・怪我に関する統計がないことが課題。スポーツ安全保険の大学生に関するデータでも、事故の発生原因(運動部活動中のものか、それ以外か)は不明
- ✓ 突然死などの重大事故のデータが重要であるが、頻度が低いため各大学が連携し集約することが必要

## ■ 責任の所在の明確化、事故や怪我の報告・共有の促進

- ✓ 課外活動であることに起因し、事故が起きたときの責任の所在が分からない  
また、部活動側の責任問題となり試合に出場できなくなるような事態を恐れ、事故を隠そうとするインセンティブが働き、事故の情報が報告・共有されない
- ✓ 事故の情報を報告させるため、保険金がしっかり給付される点や大学側として訴訟対策となるといったメリットの検討が必要である
- ✓ 好事例と事故多発事例を出して、実態調査をした上で議論を進めていく必要がある
- ✓ トップアスリートを目指す部活動とそうでない部活動の区分けをした上での検討が必要である

## ■ 指導者

- ✓ 指導者の安全に対する意識が低いことが課題である

## ■ 日本版NCAAに期待される機能

- ✓ 日本版NCAAに期待されるのはドクターやトレーナーの配置に関する提言
- ✓ 熱中症や落雷などどんな競技でも起こりやすい問題への対処方法を纏めたハンドブック・ガイドラインを、日本版NCAAで作成し、配布することも有用

## ■ 保険

- ✓ アメフトは危険なスポーツであるため保険料が高いといった種目別に保険料が異なる状況が生じている。全競技一体的な保険とすることを旨とした検討が必要である

# 第1回安全安心WG(2017/10/11開催)振り返り② ~ワークセッションでの意見~

【テーマ】 学生アスリート・指導者が安全・安心に活動できる環境を整えるためになすべきこと

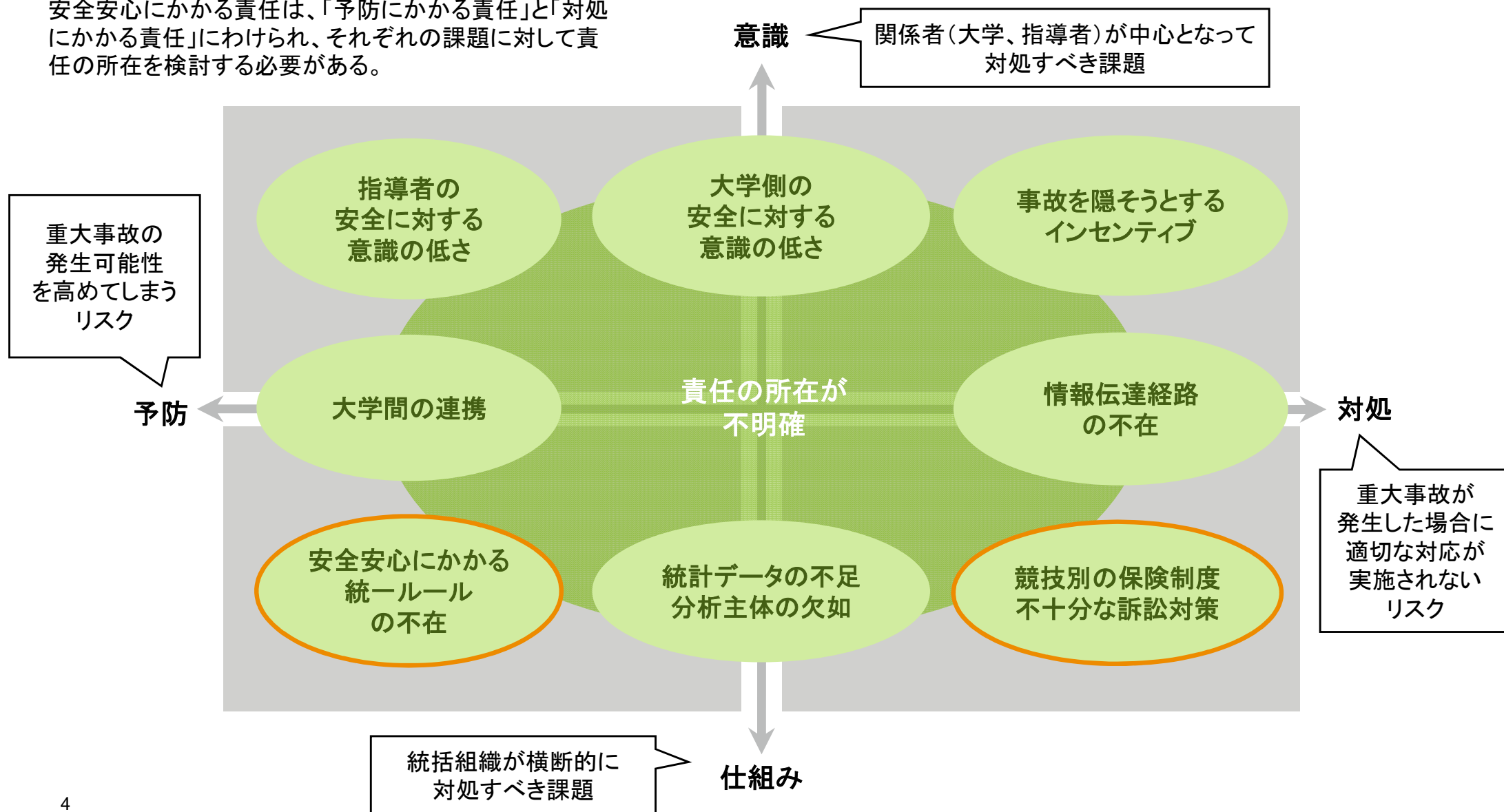
## ■ 日本版NCAAへの期待

- ✓ 日本では大学スポーツが課外活動であり、大学により管理・支援が難しいことが問題の根本。学生の安全は大学が管理することが本質であり、大学(学長等)が自分達の学生の命に責任を持つことがもっとも根本的かつ重要な要素。大学が一義的に責任を持ち、その集合体がNCAAという関係があるべき関係である
- ✓ 問題の根本への対処をしないまま個別の議論を進めてしまうと、部分最適になってしまう。トレーナーを雇用するのも、施設・設備を改善するのも大学側の負担増となり、大学側としてそれに見合うメリットを認識することは難しいのではないかと思われる
- ✓ 大学部活動を活性化させる上で、学生の安全確保のための取組を支援する組織として日本版NCAAを組成するので参加すべき、と呼びかければ、加盟による負担が大きくなければ、大学(学長等)の賛同は得られるのではないか。具体的な対策は大学ごとにできることが異なっても、対策の指針を提示することで学内の取組が良くなっていくことが期待できる
- ✓ ベンチマークとして米国の安全基準を当てはめた場合に、日本ではどれだけのスタッフが必要となり、どれだけのコストが掛かる、といった地に足のついた検討を、マネジメントWGと併行して実施していく必要がある

# 第1回のWGでは、総論としての課題感の抽出を実施した。認識された課題は意識の問題から構造的な仕組みの問題に分けることができ、根本には責任の問題がある。

## 安全安心WG(第1回)において認識された課題

安全安心にかかる責任は、「予防にかかる責任」と「対処にかかる責任」にわけられ、それぞれの課題に対して責任の所在を検討する必要がある。



安全安心にとって最も重要なことは、事故を起こさせない「予防」の措置であり、その中でも、早急に対応すべき課題は「命にかかわる課題」である。

### 課題に対する対応方針の検討

第2回WG

第3回WG

## 予防

- 統一的なルールの導入
- ガイドライン・ハンドブックの作成・配布
- 指導者への安全や医療に関する研修の実施
- ドクターやトレーナーの現場への配置
- 医療機関、大学間の連携
- 重大事故及び多発する事故に関する事例集の公開

医療体制の構築と監督機能の強化

事故

## 事後の対処

- 適切な連絡経路の確立
- 訴訟事例の共有、対策案の確立
- 事故が起きた状況、対処方法、事後の経過に関する情報収集と分析

保険制度の補強

フィードバック

マネジメントWG